

廃棄物関連									
年	月	一 般	月	ごみ関係	月	し尿関係	月	施設関係	
5	3	「北九州まち美化懇話会」設置 週休2日制の実施 かん・びん分別収集等について、 各町内会を対象に出前トーク開 始 厚生省職員派遣研修 (有田事務吏員) 「北九州まち美化懇話会」と市 議会・環境教育委員会の懇談会 を開催 「市内ごみ資源化・減量化行動 計画」策定 かん・びん分別収集開始記念イ ベント「サ・リサイクル」開催 「北九州市廃棄物の減量及び適 正処理に関する条例」制定 技能労務職員第16回海外派遣 研修 「レッツリサイクル北九州フェア」開催 「北九州まち美化懇話会」提言 こどもごみ会議開催	4	ごみ作業基準の改正 一般ごみ収集の地区割変更 (3地区収集から2地区収集に 変更) 作業調整 一般ごみ増車 12台 環境機動班新設稼働 (9班) (特別収集車・景観作業班は 廃止) 一般ごみの祝日収集実施 市場・商店街ごみ収集の見直 し開始 オフィス町内会の組織化開始 廃木材のチップ化によるリサ イクル開始	4	し尿作業基準を改正 作業調整 一般し尿減車 5台 若松・戸畑環境事務所管内 の直営部門を委託化 委託業者転廃対策実施(2 台) 市民トイレ清掃 1班増班 市民トイレ清掃 小倉北の一部と戸畑の全部 を委託化	2	新門司工場無停電電源装置取 替 新門司工場高圧蒸コンDバン ク取替 吉祥寺公園市民トイレ建替 平尾台市民トイレ建替 河内小学校前市民トイレ建替 市民トイレ18ヶ所に手摺り 設置 新門司工場基幹改修(焼却炉、 集塵設備、破砕設備の整備) 平成8年度終了 西港(破砕)工場解体完了 日明かんびん資源化センター 稼働開始	
	4		粗大ごみ戸別収集有料化実施 (引越機動班は廃止) 市場・商店街ごみ収集の見直 し完了(週2回収集に統一) 集団資源回収団体奨励金制度 の創設 北九州市廃棄物不適正処理防 止地域連絡協議会設置	4	作業調整 一般し尿減車 3台 小倉北・八幡東環境事務所 管内の直営部門を委託化 市民トイレ清掃(1班増 班) 小倉北の一部を委託化	2	小倉北区役所横市民トイレ撤 去 帆柱国民宿舎横市民トイレ建 替 畑貯水池市民トイレ設置 新門司廃棄物処分場埋立終了 (仮称)新皇后崎工場スーパー ごみ発電検討委員会設置 日明リサイクルプラザ開館 (仮称)新皇后崎工場工場棟建 築工事・工場棟空調工事・工 場棟電気工事・工事棟機械工 事・工場棟昇降機工事着工		
	6		「北九州市空き缶等の散乱の防 止に関する条例」制定 「北九州市廃棄物の減量及び適 正処理に関する規則」制定 厚生省職員派遣研修 (有田事務吏員) 「北九州市空き缶等の散乱の防 止に関する条例施行規則」制定 厚生省から「クリーンリサイク ルタウン」受賞 「北九州市空き缶等の散乱の防 止に関する条例」(まち美化条 例) 施行キャンペーン 技能労務職員第17回海外派遣 研修 ごみダイエットキャンペーン開 始	5	「北九州市空き缶等の散乱の防 止に関する条例施行規則」制定 技能労務職員第16回海外派遣 研修	4	「北九州市空き缶等の散乱の防 止に関する条例」(まち美化条 例) 施行キャンペーン 技能労務職員第17回海外派遣 研修 ごみダイエットキャンペーン開 始	3	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)
	7		「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	3	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	3	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)		

環境保全関連									
月	一 般	月	大気関係	月	水質関係	月	その他		
4	組織変更により環境衛生研究所 が保健局から環境局所管となる 計画課内に自然環境係設置 環境国際協力のため職員海外派 遣(平成5年11月) (門上環境衛生研究所主査) 友好都市・大連市個別研修事業 を市独自に開始 瀬戸内海環境保全功労者 環境庁長官表彰 (堀藤二環境衛生研究所長) アジア都市環境国際会議イン北 九州開催 「アメニティあふれるまちづく り優良地方公共団体表彰」受賞 大連・北九州技術交流セミナー を大連市で開催	3	(株)サニックスと硫酸化物に 係る公害防止協定の締結 公害監視センターシステム更新 トリクロロエチレン、テトラク ロロエチレンの大気環境指針 (暫定値)制定 悪臭防止法施行令の一部改正プ ロピオンアルデヒド等10物質 の追加指定(H6.4.1施行) 白島石油備蓄基地(株)の石油備 蓄設備の新設に伴う公害防止協 定の締結 北九州松下電工(株)の製造設備 の増設に伴う公害防止協定の締 結	3	環境基準に係る環境庁告示の一 部改正(新規項目の追加及び要 監視項目の設定) 環境基準に係る環境庁告示の一 部改正及び水質汚濁防止法施行 令の一部改正 (窒素・燐の環境基準及び排水 基準設定) 水質汚濁防止法施行令の一部改 正(有害物質の追加) 排水基準を定める総理府令の一 部改正(有害物質についての規 制の拡充・強化)	3	新幹線鉄道(のぞみ運行)スピー ドアップ(最高230km/h→270 km/h)に伴う沿線地域の騒音・ 振動影響調査実施 国家要望「航空自衛隊芦屋基地 周辺における民家防音工事の助 成等対象区域の拡大」の実施 国家要望「航空自衛隊芦屋基地 周辺における民家防音工事の助 成等対象区域の拡大」の実施		
		4	環境庁職員派遣 (植山事務吏員) 国際連合地域開発センターへ職 員派遣 (寛技術吏員) 環境衛生研究所を環境科学研 究所へ改称 アクア研究センターを増設 国際環境自治体協議会アジア太 平洋事務局日本事務所へ職員派 遣 (溝口主査) 「環境の日・クリーン&ネイチ ャーin平尾台」開催 「北九州市環境審議会条例」制定 マンチェスターで開催された 「地球フォーラム'94」に市民代 表が参加 「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	悪臭防止法の一部改正に伴う排 出水中における規制基準の公布	2	土壌環境基準の一部改正(健康 項目の追加・強化) 特定水道利水障害の防止のため の水道水源水域の水質保全に関 する特別措置法の公布(5月施 行) 水道原水水質保全事業の実施の 促進に関する法律の公布(5月 施行) 公共用水域等における農業の水 質評価指針の策定 農業による水質汚濁防止のため の関係行政部局等の連携強化 重金属に係る土壌汚染調査・ 対策指針及び有機塩素化合物等 に係る土壌・地下水汚染調査・ 対策暫定指針策定	1	環境保全企業者講習会(中小製 造業対象)の実施 緑の教室終わる 環境庁委託事業「音環境モデル 都市事業」(2か年事業)受託 国家要望「航空自衛隊芦屋基地 周辺における民家防音工事の助 成等対象区域の拡大」の実施 国家要望「航空自衛隊芦屋基地 周辺における民家防音工事の助 成等対象区域の拡大」の実施
		5	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)
		6	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)	4	「北九州市環境審議会条例施行 規則」制定 国際環境協力のため職員海外派 遣 (衛藤係長) インドネシア環境管理センター へ技術協力のため職員海外派遣 (森下主査) チリ国環境センターへ調査のた め職員海外派遣 (作花技術吏員)